

オリーブ通信

野のはな空のとり保育園

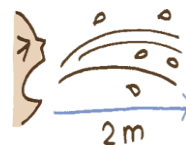
2024年 1月

【冬の感染症について】

②胃腸炎（ウイルス性胃腸炎）

◎症状：激しいおう吐、下痢、腹痛、発熱（その時によって）
おう吐・下痢による脱水症状、

◎感染経路：感染者の吐物や便、またそれに触れた手を介して感染する。おう吐物が乾燥し、そこからウイルスが飛散し、そのウイルスを吸い込むことで感染する。



◎治療：このウイルスに対する特効薬はありません。脱水予防・脱水に対する治療が基本です。脱水の予防法は、経口補水液をこまめに摂取することです。おう吐直後は口をゆすぐ程度にしましょう。顔色が良くなり吐き気がおさまったらティースプーン1杯程度から始め10～15分おきに与えます。根気強く少量ずつ与えてください。症状の悪化がなければ少しずつ1回量を増やしてください。上手く水分摂取ができないと点滴が必要になる場合があります。



※登園再開の目安は？

杉並区では、「おう吐・下痢が治まり、普段通りの食事が摂れていること」を胃腸炎後の登園の目安としています。登園の際には、医師の診察を受け、『登園許可意見書』を記入してもらい、ご提出ください。登園許可意見書はホームページよりダウンロードできます。

【おう吐・下痢時の処理について】

◎おう吐してしまったときは、しっかり消毒、ゴミは密封して捨てましょう。吐いたものにはウイルスが含まれている可能性があります。きっちり消毒して感染を防ぎましょう。

① 処理に必要なものを準備する。

市販のハイター(塩素系漂白剤)、ペーパータオル、バケツ、雑巾(捨てられるもの)、使い捨ての手袋やマスク、ビニール袋



② 消毒液の濃度は2Lの水に40mlのハイターを入れる。

③ まず、換気をします。

④ 外から中心に向かって拭き取る。

吐いたものはペーパータオルなどで、外から内側に向かって拭きとり、ゴミはビニール袋に二重に密閉して捨てます。結ぶときは固結びで空気は抜きません。



⑤ 汚れた部分にペーパータオルを敷き詰め消毒液をふりかけ10分放置する。ペーパーは破棄する。



⑥ 水拭きで消毒薬も拭き取ります。

⑦ 使い捨てのマスクや手袋もビニール袋に捨て、手をよく洗いましょう。

【下痢の便・おう吐物が付着した衣類を消毒するとき】

園では園内の感染流行を防ぐために、衣類を洗わず、密封してお渡ししています。ご家庭で消毒・洗濯をお願いします。

① 手袋とマスクをつけます。

② 換気しながら開封します。

③ 衣類に付いた汚れを取り除きます。

④ 消毒液をつくります。

2Lの水に40mlのハイターです。

⑤ 消毒液にしっかり浸します。

※塩素系の消毒液は衣類に付くと色落ちします。色落ちさせたくない場合は、85℃以上の熱湯に1分以上浸ける方法もあります。

⑥ 消毒が終わったら、他の衣類と分けて洗濯します。



※ウイルス性胃腸炎は免疫がつかないので何度でもかかり、大人もかかりま
す。感染対策をしっかり身につけるとよいですね。